



# まほろばの丘から



令和5年9月11日 文責 校長 江口 尋信

## 地区集会を開催しました

9月1日（金）、地区集会が開催されました。地区集会は、PTAの安全安心委員さんが計画・実施している活動で、各地区の危険箇所等について自治会長さんと情報交換をおこないます。残暑厳しい中でしたが、今年も校区8地区の自治会長さん、安全安心委員さん、保護者の皆さんにお集まりいただき、熱心な協議がなされました。その中で、子どもたちが交通事故に巻き込まれる恐れがある場所、不審者が確認された場所などが出され、各地区で情報が共有されていきました。



車座で地域の様子について話し合う様子

また、自治会長さんから、地域の見守り隊の方が次第に減っている現状について問題提起される場面もありました。持続可能な子どもたちの安全・安心対策について、学校・家庭・地域の三者で改めて考える時期なのかもしれません。

## 読み聞かせ、ありがとうございます

9月に入り、ボランティアの方による本の読み聞かせが始まりました。5・6年生からスタートしたのですが、子どもたちは絵本を食い入るように見ていました。わずか10分ちよっとの時間でしたが、子どもたちの心を耕す豊かな時間になりました。次週から3・4年生、1・2年生と読み聞かせが続きます。ボランティアの方々、いつもありがとうございます。



読み聞かせを真剣に聞く子どもたち

## 将来を見据えて取り組むべきこと

先日、「NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぷ」の代表である桑原由美子先生に来校していただき、「社会人になる前に今できること」という演題でお話を聞く機会を得ました。桑原先生は、ご自身の子育ての経験から、子どもを社会へと送り出す上で大切なことを分かりやすくお話してくださいました。桑原先生は、子どもを社会へ送る出すために、次のようなことを身に付けさせておいたらよいということをお話されました。

- 生活習慣を整えること（・身だしなみ ・生活リズム [毎日決まった時間に起きて登校] ・食事場面でのマナー ・金銭管理 等）
- 敬語を使えるようにすること      ○挨拶ができるようにすること      ○人との適切な距離感
- 使った道具を片付けること      ○TPOをわきまえた行動をすること      等

小学6年生は、3年後には進路選択の岐路に立ち、6年後には成人を迎えます。各教科の学習内容を身に付けさせることも大切なかもしれませんが、上記のようなことについても、学校や家庭で意識して指導していきたいと思いました。